

財 産 収 支 状 況 書

令和 年 月 日

1 住所・氏名等

住所 所在地	氏 名 名 称
-----------	------------

2 現在納付可能資金額

現金及び預貯金等	預貯金等の種類	預貯金等の額	納付可能金額	納付に充てられない事情
現金	/	円	円	運転資金 生活費 その他 ()
		円	円	運転資金 生活費 その他 ()
		円	円	運転資金 生活費 その他 ()
		円	円	運転資金 生活費 その他 ()
現在納付可能資金額 (A)			円	

3 今後の平均的な収入及び支出の見込金額(月額)

法人等	見込金額	個人	見込金額	
収 入	売上	円	給与・報酬(手取)	円
		円	年金・事業所得(1か月相当)	円
	①収入合計	円	①収入合計	円
支 出	仕入	円	住居費(家賃・住宅ローン・駐車場代)	円
	従業員給与	円	食費	円
	役員報酬	円	被服費	円
	家賃等	円	水道光熱費・通信費・新聞代(ネット料金含)	円
	諸経費	円	こづかい・交際費等	円
	借入返済	円	保険掛金	円
		円	その他ローン(事業用を除く)	円
		円	医療費・教育費・養育費	円
	円	家族等の収入・家族等からの借入等(マイナスで記入)	円	
	円		円	
②支出合計	円	②支出合計	円	
③ 納付可能基準額 (①-②)	円	③ 納付可能基準額 (①-②)	円	
		生計を一にする家族の人数(申請者本人を含む)	人	

4 分割納付計画 (B)

月	分割納付金額	増減理由
月	円	
月	円	
月	円	
月	円	
月	円	
月	円	
月	円	
月	円	
月	円	
月	円	

※分割納付金額は、3の③の欄を基に記載し、申請書の「納付計画」欄へ転記

【備考】	
------	--

5 財産等の状況

(1) 売掛金・貸付金等の状況

売 掛 先 等 の 名 称 ・ 住 所	売 掛 金 等 の 額	回収予定日	種 類	回 収 方 法
	円	. .		
	円	. .		
	円	. .		

(2) その他の財産の状況

不 動 産 等	国債・株式等
車 両	そ の 他 (保 険 等)

(3) 借入金・買掛金の状況

借 入 先 等 の 名 称	借 入 金 等 の 金 額	月 額 返 済 額	返 済 終 了 (支 払) 年 月	追 加 借 入 の 可 否	担 保 提 供 財 産 等
	円	円	年 月	可 ・ 否	
	円	円	年 月	可 ・ 否	

財 産 収 支 状 況 書

令和 年 月 日

1 住所・氏名等

住所 所在地	氏 名 名 称
-----------	------------

2 現在納付可能資金額

現金及び預貯金等	預貯金等の種類	預貯金等の額	納付可能金額	納付に充てられない事情
現金	/	円	円	運転資金 生活費 その他 ()
		円	円	運転資金 生活費 その他 ()
		円	円	運転資金 生活費 その他 ()
		円	円	運転資金 生活費 その他 ()
現在納付可能資金額 (A)			円	

3 今後の平均的な収入及び支出の見込金額(月額)

法人等	見込金額	個人	見込金額		
収 入	売上	円	給与・報酬(手取)	円	
		円	年金・事業所得(1か月相当)	円	
	①収入合計	円	①収入合計	円	
支 出	仕入	円	住居費(家賃・住宅ローン・駐車場代)	円	
	従業員給与	円	食費	円	
	役員報酬	円	被服費	円	
	家賃等	円	水道光熱費・通信費・新聞代(ネット料金含)	円	
	諸経費	円	こづかい・交際費等	円	
	借入返済	円	保険掛金	円	
		円	その他ローン(事業用を除く)	円	
		円	医療費・教育費・養育費	円	
	円	家族等の収入・家族等からの借入等(マイナスで記入)	円		
	円		円		
②支出合計		円	②支出合計		円
③ 納付可能基準額 (①-②)		円	③ 納付可能基準額 (①-②)		円
		生計を一にする家族の人数(申請者本人を含む)		人	

4 分割納付計画 (B)

月	分割納付金額	増減理由
月	円	
月	円	
月	円	
月	円	
月	円	
月	円	
月	円	
月	円	
月	円	
月	円	

※分割納付金額は、3の③の欄を基に記載し、申請書の「納付計画」欄へ転記

【備考】

5 財産等の状況

(1) 売掛金・貸付金等の状況

売掛先等の名称・住所	売掛金等の額	回収予定日	種類	回収方法
	円	・		
	円	・		
	円	・		

(2) その他の財産の状況

不動産等	国債・株式等
車両	その他(保険等)

(3) 借入金・買掛金の状況

借入先等の名称	借入金等の金額	月額返済額	返済終了(支払)年月	追加借入の可否	担保提供財産等
	円	円	年 月	可・否	
	円	円	年 月	可・否	

財産収支状況書

記入例(法人等の場合)

令和×年 7月 20日

1 住所・氏名等

住所所在地	今治市別宮町〇丁目〇-〇-〇	氏名	〇〇建設株式会社
-------	----------------	----	----------

2 現在納付可能資金額

現金及び預貯金等	預貯金等の種類	預貯金等の額	納付可能金額	納付に充てられない事情
現金		80,000 円	80,000 円	運転資金 生活費 その他
〇〇銀行△△支店	普通	70,000 円	0 円	運転資金 生活費 その他
△△信用金庫××支店	当座	120,000 円	0 円	運転資金 生活費 その他
株式会社△△ 上場株式100株		100,000 円	100,000 円	運転資金 生活費 その他
現在納付可能資金額(A)			180,000 円	

満期日が1週間以上先の定期預金は下の「5 財産等の状況」「(2) その他の財産の状況」に記入します。

分割納付金額が増減する場合は、その理由を記入します。

3 今後の平均的な収入及び支出の見込金額(月額)

法人等	見込金額	個人	見込金額
収入		収入	
売上	1,520,000 円	給与・報酬(手取)	円
		年金・事業所得(1か月)	円
①収入合計	1,520,000 円		円
支出		支出	
仕入	760,000 円	食費	円
従業員給与	170,000 円	被服費	円
役員報酬	250,000 円	水道光熱費・通信費・新聞代(ネット料金含)	円
家賃等	70,000 円	こづかい・交際費等	円
諸経費	100,000 円	保険掛金	円
借入返済	95,000 円	その他ローン(事業用を除く)	円
		医療費・教育費・養育費	円
		家族等の収入・家族等からの借入等(マイナスで記入)	円
②支出合計	1,445,000 円	②支出合計	円
③ 納付可能基準額(①-②)	75,000 円	③ 納付可能基準額(①-②)	円
		生計を一にする家族の人数(申請者本人を含む)	人

申請者が法人等で事業を行っている場合は法人等にチェックを入れます。

それぞれの金額を記入します。

4 分割納付計画(B)

月	分割納付金額	増減理由
7月	75,000 円	
8月	25,000 円	建設業免許の更新費用を要するため
9月	75,000 円	
10月	75,000 円	
11月	155,000 円	貸付金の回収による入金(80,000円)があるため
12月	45,000 円	+延滞金

「納付計画書」に記載した、猶予を希望する期間の終期

最終回は「+延滞金」と記入します。

※分割納付金額は、3の③の欄を基に記載し、申請書の「納付計画」欄へ転記

売掛金や貸付金等今後収入になるものについて記入します。「種類」には売掛金、貸付金、未収金等の種類を、「回収方法」には現金、振込、手形、小切手等の方法を記入します。

5 財産等の状況

(1) 売掛金・貸付金等の状況

売掛先等の名称・住所	売掛金等の額	回収予定日	種類	回収方法
A建築株式会社	500,000 円	XX・8・25	売掛金	振込
有限会社〇〇工務店	180,000 円	XX・9・10	売掛金	小切手
株式会社XXホーム	80,000 円	XX・11・25	売掛金	現金

満期日が1週間以上先の定期預金はその他(保険等)に記入します。

(2) その他の財産の状況

不動産等	会社事務所マンション(新宿区西新宿X-X-X-XXX号室)	国債・株式	株式会社(関連会社) 未上場株式1株
車両	資材置き場用土地(XX県〇〇市△△町XXX)	その他(保険等)	〇〇生命保険
	業務用車両1台(ミニバン 練馬330cc XXXX ローン有り)		A銀行〇〇支店(定期預金・10万円・満期日×△年X月)

(3) 借入金・買掛金の状況

借入先等の名称	借入金額	返済予定日	追加借入の可否	担保提供財産等
〇〇リース	800,000 円	X△年 5月	可(否)	
〇〇銀行△△支店	9,600,000 円	△△年 5月	可(否)	会社事務所(新宿区西新宿X-X-X)、資材置き場用土地(XX県〇〇市△△町XXX)

借入のために抵当権を設定しているもの等、担保として提供している財

財産収支状況書

記入例(個人の場合)

令和×年 7月 20日

1 住所・氏名等

住所所在地	今治市別宮町〇丁目〇-〇-〇	氏名称	今治 太郎
-------	----------------	-----	-------

2 現在納付可能資金額

現金及び預貯金等	預貯金等の種類	預貯金等の額	納付可能金額	納付に充てられない事情
現金		30,000 円	0 円	運転資金 生活費
〇〇〇銀行××支店	普通	100,000 円	0 円	運転資金 生活費
△△△銀行〇〇支店	普通	30,000 円	0 円	運転資金 生活費
		円	円	運転資金 生活費
現在納付可能資金額(A)			0 円	

満期日が1週間以上先の定期預金は下の「5 財産等の状況」「(2) その他の財産の状況」に記入します。

分割納付金額が増減する場合は、その理由を記入します。

3 今後の平均的な収入及び支出の見込金額(月額)

法人等	見込金額	個人	見込金額
申請者が給与所得者等の個人の場合は、「個人」にチェックを入れます。	円	収入	円
		給与・報酬(手取)	300,000 円
		年金・事業所得(1か月相当)	円
①収入合計	円	①収入合計	300,000 円
		支出	円
年金の場合は1か月相当の金額を記入します。事業を行う個人で都税等を同時に納付することで生活の維持が困難になる場合は、売上から事業にかかる経費等を差し引いた金額の1か月相当の金額を記入します。		住居費(家賃・住宅ローン・駐車場代)	120,000 円
		食費	60,000 円
		被服費	10,000 円
		水道光熱費・通信費・新聞代(ネット料金含)	40,000 円
		こづかい・交際費等	25,000 円
		保険掛金	10,000 円
		その他ローン(事業用を除く)	19,000 円
パート収入のある配偶者や子からの仕送り、知人からの借入など生活費を負担する家族等がいる場合は、その負担金額をマイナスで記入します。		医療費・教育費・養育費	20,000 円
		家族等の収入・家族等からの借入等(マイナスで記入)	-30,000 円
②支出合計	円	②支出合計	274,000 円
③納付可能基準額(①-②)	円	③納付可能基準額(①-②)	26,000 円
		生計を一にする家族の人数(申請者本人を含む)	4 人

それぞれの金額を記入します。

4 分割納付計画(B)

月	分割納付金額	増減理由
8月	26,000 円	
9月	0 円	固定資産税の納付のため
10月	26,000 円	
	+ 延滞金	
	円	
	円	
	円	
	円	
	円	
	円	
	円	
	円	

「納付計画書」に記載した猶予を希望する期間の終期と

最終回は「+延滞金」と記入します。

※分割納付金額は3の③の欄を基に記載し、申請書の「納付計画」欄へ転記

申請者本人を含めた同一の生計の配偶者その他親族の人数を記入します。

5 財産等の状況

(1) 売掛金・貸付金等の状況

売掛先等の名称・住所	売掛金等の額	回収予定日	種類	回収方法
	円	・		
	円	・		
	円	・		

事業を営む個人の場合で、売掛金や貸付金等今後収入になるものについて記入します。「種類」には売掛金、貸付金、未収金等の種類を、「回収方法」には現金、振込、手形、小切手等の方法を記入します。

(2) その他の財産の状況

不動産等	自宅の土地家屋(東京都新宿区西新宿X-X-X)	国債・株式等	
車両		〇〇生命保険	A銀行〇〇支店(定期預金・10万円・満期日×△年×月)

満期日が1週間以上先の定期預金はその他(保険等)に記入します。

借入のために抵当権を設定しているもの等、担保として提供している財産を記入します。

(3) 借入金・買掛金

借入先等の名称	借入金等の金額	月額返済額	返済終了(支払)年月	追加借入可否	担保提供財産等
〇〇〇銀行××支店	30,000,000 円	120,000 円	X△年 3月	可(否)	自宅の土地家屋
	円	円	年 月	可・否	